

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【公開番号】特開2016-198609(P2016-198609A)

【公開日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-173158(P2016-173158)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が打ち込まれる遊技領域が前面に形成された遊技板と、

前記遊技領域内に配置され遊技球が入球可能な始動口と、

該始動口に遊技球が入球したことを検出する入球状態検出手段と、

該入球状態検出手段による前記遊技球の検出に基づいて抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段の抽選結果が当りであるとき、遊技者に利益を付与可能な利益付与状態を発生させる利益付与状態発生手段と、

前記遊技板の後方に配置され、所定の演出画像を表示可能な表示領域を有する演出表示装置と、

前記表示領域の周縁近傍に設けられる可動装飾体と、

前記抽選手段の抽選結果に基づいて、前記可動装飾体の駆動制御を行う駆動制御手段と、を備え、

前記駆動制御手段は、

正面視において前記表示領域と重なる障蔽位置に前記可動装飾体を位置させる第1状態と、

前記第1状態に比べて正面視において視認される前記表示領域が大きい開放位置に前記可動装飾体を位置させる第2状態と、に制御可能であり、

前記表示領域の周縁近傍に前記可動装飾体とは別に設けられ、前記表示領域の前方の所定位置に移動する動作が可能な特別可動体と、

前記特別可動体を用いた演出として、前記可動装飾体が前記第1状態とされ、前記特別可動体が前記所定位置に位置するように当該特別可動体を動作させる第1演出と、前記可動装飾体が前記第2状態とされ、前記特別可動体が前記所定位置に位置するように当該特別可動体を動作させる第2演出と、を実行可能な特別演出実行手段と、をさらに備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

ところで、近年では可動体による演出を行うものが多いが、可動体による演出に対しては、より興趣の高められる演出の登場が望まれている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたものであり、可動体による演出の興趣を向上させることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1に記載の発明は、遊技球が打ち込まれる遊技領域が前面に形成された遊技板と、前記遊技領域内に配置され遊技球が入球可能な始動口と、該始動口に遊技球が入球したことを検出する入球状態検出手段と、該入球状態検出手段による前記遊技球の検出に基づいて抽選を行う抽選手段と、該抽選手段の抽選結果が当りであるとき、遊技者に利益を付与可能な利益付与状態を発生させる利益付与状態発生手段と、前記遊技板の後方に配置され、所定の演出画像を表示可能な表示領域を有する演出表示装置と、前記表示領域の周縁近傍に設けられる可動装飾体と、前記抽選手段の抽選結果に基づいて、前記可動装飾体の駆動制御を行う駆動制御手段と、を備え、前記駆動制御手段は、正面視において前記表示領域と重なる障蔽位置に前記可動装飾体を位置させる第1状態と、前記第1状態に比べて正面視において視認される前記表示領域が大きい開放位置に前記可動装飾体を位置させる第2状態と、に制御可能であり、前記表示領域の周縁近傍に前記可動装飾体とは別に設けられ、前記表示領域の前方の所定位置に移動する動作が可能な特別可動体と、前記特別可動体を用いた演出として、前記可動装飾体が前記第1状態とされ、前記特別可動体が前記所定位置に位置するように当該特別可動体を動作させる第1演出と、前記可動装飾体が前記第2状態とされ、前記特別可動体が前記所定位置に位置するように当該特別可動体を動作させる第2演出と、を実行可能な特別演出実行手段と、をさらに備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の遊技機によれば、可動体による演出の興趣を向上させることできる。